

乗鞍岳散策 2025/07/18 (金) 晴れ 後藤、勝又、峰田、伊藤、斎藤 報告=斎藤+α
長泉 6:00～一の瀬 11:30～善五郎滝 12:22～国民宿舎 12:30～牛留池 13:07～あざみ池 13:38～一の瀬 14:09～観光会館～沢渡「ともしび」泊 15:00 標高差=約 115m

長泉発 6:00。天気良好。富士山くっきり。今日は、「たくさん上っているでしょうね」と話が弾む。中央道・岡谷の渋滞を抜け、乗鞍岳観光センターに 11 時前着。

昼食を摂り身支度を整え、一の瀬駐車場から散策開始。駐車場脇の大木に可憐な白い花が咲いていた。「夏椿」だった。



一の瀬 P



夏椿

犬を連れた方から「あざみ池」対岸のクマ目撃情報をいただく。「いや～、さっそくですか・・・」用意したホイッスル・クマ鈴を身に付け、ちょっとびりビビりながら出発。

善五郎滝の道は少し分かり難い。道々、鉄パイプを切った「クマ除け（おどし）」があった。備え付けの鉄棒で「カンカン」鳴らす。

善五郎滝を滝見台から鑑賞。堰堤のように整った滝だった。雪解けの澄んだ迫力ある瀑布に感動。滝脇から牛留池に向かう。



善五郎滝



クマ除けパイプと鉄棒



牛留池



ねじねじの木

上り切って「国民休暇村」で小休止。女子はコーヒーを飲んだ。下って「牛留池」着。水草が繁茂する静かな池でした。水草が多く乗鞍岳が映らず残念。

池畔で「ぐるんと円になった木（ねじねじの木）」を観察。上野・寛永寺、「月の松」の浮世絵のよう。「いや、もっと太くて立派！」自然のちょっとしたいたずらにほっこりして記念撮影。ちなみに何故このようになったか不明だそうです。

池から緑の美しい散策路を進むと、ところどころで可憐な山野草がお出迎え。白いアジサイのような花は「ヤマデマリ（山手毬、蘂手毬）」だった。

クマに遭遇することなく一の瀬着。ロッジのジェラートの看板に引かれ、アーモンドミルクのジェラートと珍しいレモンコーヒーをいただいた。ジェラートは冷たく汗をかいた喉に極上の味わい。おもわず「美味しい～～」と叫んでしまった。

一の瀬を後にし、ダメ押しで観光会館裏の民宿に「ヤナギラン（柳蘭）」を見に行く。民宿に挨拶すると、オバさんは、「ど～ぞ、ど～ぞ」と快諾してくれた。今年も見事な花が咲いていた。

やっぱりこの花は夏を象徴する花だ。これを観ないと気が済まない。周囲も珍しい花々が咲いていた。沢渡のゲストハウス「ともしび」に着いた。宿主のババさまは、電話で予想した通り温かい方だった。宿代をIさんが払うと、何と「数えないで」レジに収めた。「エエ～、イイの～？？」と聞いたら、「イイのイイの」だった。何とも太っ腹。

温泉に入り夕食は、沢渡大橋脇のドライブイン「しもまき」食堂まで距離があるのでタクシー利用。だが、タクシーは5人乗りで全員乗れない。

運転手は悩んだが、「イヤヤ！！」で出してくれた。これも何とも太っ腹。料金700円だったが、チップを加えて1000円支払いました。

夕食を終え帰りのタクシーの話をしていると、今度は店の主人が宿まで送ってくれると提案。これも何とも太っ腹。今日は沢渡の皆様に助けられました。

宿に戻り女性軍は温泉。夜は毛布がないと寒かった。明日は焼岳早朝登山で早めに就寝しました。



一の瀬・スイーツ店



ジェラートとレモンコーヒー



夏の象徴・ヤナギラン